

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいクリエイトPocket！		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 17日		～ 2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数) 28人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 17日		～ 2026年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/1		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものことを理解し、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での計画書作成が出来ている</li> <li>計画に沿った支援ができています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回の事例検討会の実施。職員全員で子どもの困りごと・どう支援していけばいいか？を検討しています。最近ではスーパーバイザーの助言等も聞いて支援の内容を更によくできるように取り組んでいます。</li> <li>・計画を職員間で共有し統一した支援を心がけるようにしています。</li> <li>・子ども達本人にもpocketで頑張りたいこと、楽しいことなどを聞いて支援計画を作成しています。</li> </ul>	<p>今の状況を継続していけるように努めていきます。</p>
2	<p>視覚的に分かりやすい環境設定(構造化)ができており、どの場所でも過ごすかが明確に伝えられている。(おやつルーム・スタディールーム・プレイールーム・ゲームルーム・iPadルームなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの部屋で何をやるかが分かりやすくなっている環境。宿題や課題をするスタディールームでは集中しやすいようにパーテーションや仕切りを作り、必要があれば使用しています。</li> </ul>	<p>活動内容について保護者等にわかりやすく伝えるために何のためにこの活動をしているのかなどの目的を記載してきました。(HUGやインスタにて)</p>
3	<p>長期休暇のイベント、自由時間での過ごし方の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の飲食店やお店に食べに行ったり、買い物に行ったりして地域との繋がりを育んでいます。</li> <li>・子どもたちにもマナーやルールを事前に説明し、それを守ったうえで同年代とイベントを楽しめるようにしています。</li> <li>・自由時間で遊ぶものが多く(パソコン、タブレット)頑張れる動機になっています。また集団で遊ぶ物も多く(ドンジャラ、人生ゲーム)課題でも活用しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントでは毎年同じ内容にならないように、継続していきたいと思っています。</li> <li>・子どもたちにアンケートを取ったり、イベントの内容を聞いてみたりという取り組みもしてみたいと思っています。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>建物の老朽化?(雨漏り)・換気が少ない(開閉できる窓が無い)お湯が出ない</p>		<p>施設の管理者と協議し、改善できるところは改善に努めてまいります。</p>
2	<p>保護者とお会いして話す機会が少ない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎に出ていることや、HUGのみでの状況の通知のため。</li> <li>・保護者の仕事の兼ね合いもあり日々の中で対面で話す機会が少なくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談時や契約時に服薬の状況や変更があった場合、事業所にも伝えてもらうよう通知する・新規で服薬するときも同様。</li> <li>・LINEなどの連絡ツールを使って、保護者との連絡を密にする。</li> </ul>
3	<p>交流の機会をを考えてイベントを実施しているが、保護者からの認識が薄い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との交流や保護者やきょうだいへの支援を含めたイベントの目的を伝えていないためと思われます。</li> <li>・LINEのメニューからイベントを見る機会が少ないのではと考えられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの名目をはっきり記載する(親子交流会・地域交流会・イベントの目的など)</li> <li>・なるべく早めにイベントの告知をする。</li> <li>・LINEのメニューに掲載するのではなく送った方が認識されやすい?</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらいクリエイトPocket！

公表日 2026/3/1

利用児童数 2026年1月24日30人

回収数 28人 93%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	7	1	1	・活動でサーキット遊びをしている写真を 見ると、活動のスペースが確保されているんだな と思います。 ・狭いと感じます	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1		1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	5				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	5		1	・清潔感はあると思います。室内が狭す ぎて体が動かせないと思います。	・室内が広くはなく体が思いっきり動かせないので 天気がいい時は外に出たり、長期休みでは公園や体 育館などで遊ぶ内容を提供したりしています。
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1		1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	2			・しっかりヒアリングして頂いてるので 安心感があります。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	3				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1		1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	10	3	5	・今でも多くの機会を作っていたいており ますが、ぜひまた家族兄弟や地域との交流の 機会を設けていただけますと幸いです。 ・他の子供との交流はなかったと思います。 必要ないと思います。	・機関との調整が難しく交流があまりな い状況です。イベントを通して地域のお 子さんと関われる機会はあるので継続し ていきたいと思っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	2	1			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	28				本人に聞いても返事が返ってこないの で、迎えの際にその日の出来事や様子を 伝えてくれるのは助かっています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	4			さらに気軽にご相談できるとありがたいです	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	2				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	5		1	・ハロウィンイベントに親や兄妹も参加 できた事が良かったです。 ・もう少し多いと嬉しいです。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	3			・毎月のお便りでは、新しく入った職員さんを紹介してくれたり、職員さんからの一言があつたり親しみやすさが良いと思います。 ・しっかり相談ののってくれて感謝しかない	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1	1	外部から本人の情報がまわってきたことがありました。	情報の取り扱いには十分注意するよう職員で共有していきたいと思います。 不安であれば事業所や市役所、苦情窓口等に気軽にご相談ください。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	4			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26		2	近くの小学校へ逃げる避難訓練は本格的で良いと思います。		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	3	3			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1	4			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	1		・今年度で卒業のためとても寂しいようです。イベントもなるべく多く参加したいと言っており、利用日は毎回楽しみに通っています。 ・行けば楽しいようなのですが行くまでが気持ちが乗らないようです。いつも楽しい活動をありがとうございます。		
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	2		・記録を拝見すると毎回とても楽しそうで、安心しております。今後もよろしくお願ひいたします。 ・先生方の対応がとても良く、いつも笑顔で雰囲気すごく良いと思います。 ・長期休暇では、普段行かない所へ連れて行っていただけるのでありがたいです。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		みらいクリエイティブPocket!				公表日	2026/3/1
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		場所を区切り、活動している。狭い分必然的にコミュニケーションや相互作用が生まれやすくなっている。	定員の人数にもより、多いと狭く感じる時があり適切ではない時もある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		法定+2名ほどの職員を配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		勉強する場所と遊ぶ場所が分かれている。	段差でのバリアフリーはできていない(変えることが難しい環境)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		ゲーム部屋(個別の場所)で課題をしたり、個々の特性に応じてパーテーションを使用したりしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	第三者評価機関からの査定は行っていないが地域の方との意見交換を行っており地域に開かれた運営を心掛けている。	第三者評価機関からの査定を実施となると非常に高額のため実施が困難。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修委員の設置など、質の向上のための工夫がなされている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		計画作成時に全職員で相談し、気になる部分を共有した上での作成。子ども達にも会話の中で頑張りたいことや本人の意思などを聞いている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		インフォーマルなアセスメントは日々の支援の中で出来る時に取り組んでいる。	標準化されたフォーマルなアセスメントをする時間が取れず難しい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		集団活動は毎週異なることをしている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		子ども達にアンケートをとるなどしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		特性や、関係性を職員間で共有・話し合い組み合わせ支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝や昼のミーティングの時間があることで常勤、非常勤に支援内容・対応が共有出来ている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		2-3名は17時から送迎対応のため、送迎後に振り返っている。申し送りノートで共有。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		様々な活動の中で自己選択できるようにしている。特に集団活動では参加・見学・プリントという選択肢がある。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			機会なし
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		実習先や学校など機関が集まりご本人様、保護者様と情報を共有した。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		事例検討会ではスーパーバイズを呼んで助言を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	夏祭りイベントで地域の方やお子さんも受け入れていい機会だと思った。	機関との調整が難しい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		協議会に参加する職員が限られてきたり、現場での支援の時間と重なったりすることがあり参加が難しい時がある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に対面で情報を伝えるように職員が意識している。迎えがある人には伝えることが出来ている。	送迎をしているお子さんの保護者とは日頃からとなると難しい部分がある。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		去年の9月からペアトレを開催した。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		こどもからはどんなことを頑張りたいか、何が楽しいのかななどを普段の会話から聞いている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		親子向けの交流会の開催やBBQイベントがある	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		今年度はカレーイベント、ハロウィンイベント、BBQ、ベアトレなど親子や兄弟が参加できるイベントを実行した。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		インスタや公式LINEなど時代に合ったツールを活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		夏祭りやハロウィンなどのイベントの開催	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		委員会で毎年BCPを見直し策定している。1年に2回ほど水害や地震などの災害時に対する訓練をしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		6		保護者への聞き取りで対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		研修に積極的に参加したり日々の支援対応を職員間で振り返りをしたりして、虐待が起こらない予防につなげている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		マニュアルを作り、それに沿って契約時に説明し計画に記載している。		